

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 25 日 (16:00 ~18:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 常勤者 4 名 + 非常勤者 6 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6	4			10

前回の改善計画	各自メモ帳に記入する 箇条書きで記録するよう意識する 用語の共有を図ることを考えた
前回の改善計画に対する取組み結果	3 つの改善策の中で、用語の共有化は図られてきているが、記録の仕方・箇条書きにするスキルが上がらない。また、メモ帳に記入するスタッフは少ない。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	6		0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8	2		0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	10			0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	8	2		0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族・ご本人の不安を取り除くため、声かけを心掛けていた ・ 用語の共有をミーティングで繰り返し話し合った ・ ミーティングに欠席しても、書面で情報等確認できている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨機応変にご本人に合わせて計画を変更していたので、非常勤のスタッフにまで伝わっていない ・ 文章を簡潔に理解できるよう表現できず、伝達が正しく伝わらない ・ 一日の始まりにミーティングを取りたいが、訪問等でスタッフが一堂に揃うことが難しい ・ 非常勤のスタッフが新しい利用者さんの情報について、あまり共有できていない時がある (その理由) ・ 連絡票の未確認によるものが多い 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 共用語の共有を全員に周知して行く ・ 発語を短くまとめる練習 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 25 日 (16 : 00 ~18 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 常勤者 4 名 + 非常勤者 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	7			10

前回の改善計画	期間を 12 か月と区切って達成評価を数値化し、個々がスモールステップをする状況をわかりやすく表にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	モニタリングした内容を毎月個別にまとめられているが、達成評価を数値化するには至っていない。基準が明確になっていないことが今の課題となっている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	6			10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	5			10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	7	3			10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	7	3			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・雑談・会話の中から本人の本音・希望をつかむよう、努めている ・月 2 回の会議・研修により、個人の目標を共有している ・利用者さん、それぞれの思いを汲み取り、限られた利用時間の中で実現できる努力・工夫をしている ・個々にスモールステップを決めて行っている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の状況を数値化するまでにはなっていない ・所内研修で、個別の様子や問題点など話す機会が以前より減り、情報不足のことが時々ある (その理由) ・各々のゴール・目標をケアしながら、確認しやすい状態を作る ・目標が健康に穏やかに過ごす等、具体的でないとできているかどうか分かりにくい 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・個別の目標を明記して、意識して達成評価をする 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 25 日 (16:00 ~18:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 常勤者 4 名 + 非常勤者 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6	4			10

前回の改善計画	PDCA サイクルを理解して、情報収集したものを個人のものにせず、チームワークによる多角的な視点で変化を早くキャッチ、スタッフ間で共有を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	チームワークによる多角的な視点をケアに反映しているが、個人で留まることも多くある

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	7	3			10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	1			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	9	1			10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	2			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	2			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちや思いに気づいた時点でスタッフ間の共有、対応していました ・スタッフのチームワーク ・利用者本人の体調・精神状態の変化をミーティング等で共有し、それに沿って日々丁寧に支援している ・対応する日時やスタッフによって、本人が見せる表情・行動・つぶやきなどが違うので、一つ一つを見落とさないよう拾い集め、その都度スタッフで情報交換し、早急に対応できるよう努力している 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のやり取りだけで終わらせてしまい、正確に伝わっていないことも ・情報を意識して集めること (その理由) ・言葉でなく、どんな小さいこともきちんと記入しなければいけないことを認識していない ・記録を読む余裕がない 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・全員が情報を共有するためにも、意識して記録に目を通すこと 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 25 日 (16 : 00 ~18 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 常勤者 4 名 + 非常勤者 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7	3			10

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・初回アセスメントを基本にモニタリングを丁寧に拾って記入する。・民生委員さんとの交流会をホームで 1 回/年計画してみる。
前回の改善計画に対する取組み結果	二つの項目に対して積極的であり意識的に取り組んでいる

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	4	6	0		10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	7	3	0		10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	5	5	0		10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	5	4	1		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・会議等で、個々の情報を報告している・日々のモニタリングし、地域・家族との関係が切れないような支援ができている・初回アセスメント・その後のモニタリング共に細やかに行われ、それを精査しつつ、本人の希望に沿った生活を送れるよう配慮されている・民生委員・訪看・医療機関・ボランティア等地域ともかかわりを良好に持てている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・全ての方々（利用者さん、家族含む）の地域資源を把握しにくい部分もあるのでは・通いのない時の過ごし方は十分に把握しているとは言えない（その理由）・家族に尋ねるが、知らないことが多く、情報を得る手段が限られていた	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・各情報を記録に残す	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 25 日 (16 : 00 ~18 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 常勤者 4 名 + 非常勤者 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	9	1			10

前回の改善計画	事務所独自の観察項目をわかりやすい工夫をして作成し、変化に気付ける記録にすること。
前回の改善計画に対する取組み結果	P D C A サイクルを活用して、工夫を重ねている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	9	1			10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10				10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	8	2			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10				10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔色や体調の変化、バイタル等により変化に気づき早い対応をする ・ 記録方法が書きやすさ、見やすさにどんどん改善されていき、以上のような変化に対応できている ・ 記録用紙を新しくし、重複した作業を減らし、一目瞭然分かりやすい記録となるよう改善したことにより、柔軟な支援に力が入られるようになっている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 見落とし、伝達不足、地域資源とのつながりの工夫 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 変化に気づくには、観察力の向上と正確に伝えることが必要である。記録に時間がかからない工夫をする 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 25 日 (16:00 ~18:00)

6. 連携・協働

メンバー 常勤者 4 名 + 非常勤者 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9	1			10

前回の改善計画	状況に応じて積極的に参加してもらうように働きかける。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケースによって違いがあるが地域の中に協力体制が取れている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	9	1			10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	10				10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	10				10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	8	2			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 地域の子供たち、ボランティアさん、お店の方や近隣住民の方々と交流できています・ 散歩中の方への声かけ等から立ち寄ってくれるようになった・ 状況に応じて他のサービス機関との会議に参加し、共有している・ 近所の方や子供たちがイベント以外でも遊びに来ている・ サービス機関・自治体等の会議には積極的に参加し、認知症についての講義も行った・ 地域の行事にも参加し、交流を含め事業所を訪れる人も増えている・ 地域の若い事業の応援も担っている (ゴム紐の内職)・ 近所の保育園児、利用者さんの友人など立ち寄ってくれている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 場所的に小中高生の立ち寄りには少ないような気がする	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ 地域との関係はさらに深めることで、協力し合う地域作りをして行く	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 25 日 (16 : 00 ~18 : 00)

7. 運営

メンバー 常勤者 4 名 + 非常勤者 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8	1			9 (無回答 : 1)

前回の改善計画	地域からの意見を聞くことは次の課題解決につながるので話し合う機会を年 1 回は企画する。
前回の改善計画に対する取組み結果	意見を出すまでは至っていませんが、相談月ごとに多くなっている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	6	4			10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	2			10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	4			10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	9	1			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフとよく話し合っている ・ご利用者、ご家族などからの問い合わせや苦情にも真摯に取り組んだ ・意見や考えは言えている ・イベントの協力・参加は前向きに取り組んできたことで、意見が多く聞かれるようになった ・訪問やカンファレンス等で出たご家族の声・要望には応えられている ・意見や苦情があれば、誰からのものでも耳を傾け、反映している ・利用者・家族・介護者・地域住民・ボランティアの方等の声については、よく耳を傾け・受けとめ話し合っている ・事業所として色々と企画ができている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の方たちの生の声はなかなか聴くことができていない ・一職員 (自分) は事業所のあり方に意見を述べていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が近隣に事業所があることで、喜んでもらえる工夫と周知を高めるイベントを行ってみる 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 25 日 (16 : 00 ~18 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 常勤者 4 名 + 非常勤者 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8	2			10

前回の改善計画	月に 1 回の所内研修を外部の講師を入れ充実するとともに、非常勤者も年 1 回は外部研修を受ける機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	所内研修は人脈を活用して行うことと、事業所のスタッフが担当することでスキルを深めている 非常勤者に外部研修の強制はしていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	8	2			10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	7	3			10
③	地域連絡会に参加していますか	8	2			10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	3			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所内研修も頻回に行われていました ・ 1~2 か月に 1 回は研修を開催している ・ 職場内での研修は、毎月テーマを決めて行っている ・ 外部の看護師さん等を迎え、医療の観点からの対応について研修を受けています ・ 職場外の研修を所内研修に反映させ、スタッフの質の向上に役立っている ・ 所内研修が大変充実している ・ 参考になる点が多く、日々の業務に活用されている ・ 所内研修では、外部の先生の経験豊富な講義を聞けることもあり、学びの場となっている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研修をここ 1 年受けられていない (個人の問題です) 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修情報を提供を行っていく 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 25 日 (16 : 00 ~18 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 常勤者 4 名 + 非常勤者 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8	2			10

前回の改善計画	全員が「プライバシーを守る」の項目が「よくできている」になるように統一した基準を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	真摯に受け止めている。人権を尊重することを常に意識している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10				10
②	虐待は行われていない	9	1			10
③	プライバシーが守られている	7	3			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	2			9 (無回答 : 1)
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	2			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・「プライバシーを守る」「人権」に関しては、ミーティングでよく話し合われる ・職員同士の会話・外部からの電話・メモの取り扱いに気を付けています	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者さんとトイレ・入浴介助する際、介助者の声が大きくなってしまふことがある ・他の利用者について個人的な質問を受けた時、どこまで答えて良いのか迷う ・メモの紛失があった ・時に書類 (ファイル) がご利用者さんの目に触れそうであった (その理由) ・「この位なら」と思う自分の甘さ、認識不足から ・(私は) 経験不足で、自分の中の基準が曖昧だから ・注意力が足りなかった ・利用者の方の状態を知りたい時、つい声に出して聞いてしまう	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・業務に対しての責務を認識することを、繰り返し伝えていく	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 オーバル	代表者	室井 啓子	法人・ 事業所 の特徴	H29年の一年間は、地域との関係性も深まり、小規模多機能型居宅介護の地域における役割に応える実践力を蓄えることができた。又一人暮らしの方を自宅での看取り体験をしたことで、ケアの質に深味が増したことは大きな糧となり、今後に生かしたいと思っています
事業所名	おーばる・ほーむ	管理者	室井 啓子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	4人	0人	人	1人	1人	2人	人	12人

項目	前回 29 年の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	①レーダーチャート式にして改善計画を各項目別に達成が可視化できるようにしていく。	改善項目が可視化されたことで、「出来ていない」項目がはっきりとわかることで、事業所全体の課題として認識できた	・項目を前回と比較した内容になっていることを理解していないと解り難い	説明・報告を丁寧に行う
B. 事業所のしつらえ・環境	①未決の調査を実施し委員会で報告する。 ②調査結果から事業所の課題を抽出し、目標や工夫改善に反映する。	今回も未決になっている所を、委員さんからの協力が得られることによって気持ちの負担が軽減された	・小さな改善は、即行っている	近隣地域の方に協力して頂く
C. 事業所と地域のかかわり	①小規模の実際の内容を説明し理解を深めてもらう。 ②居宅介護事業所へPRをする。	実際にボランティアとして関わることによって、介護を知ることができた	・全員・誰もががとなると難しいが、関係性は年々深まっている	事業の説明を周辺地域対象に行う
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	①日々のモニタリングによって、生活の「暮らしのマップ作り」が広がり深めることで在宅生活の充実を図る	地域の相談ケースはなかったが、自治会福祉部で知ることができた	・どう答えてよいか解り難い項目がある	情報収集と顔なじみになる
E. 運営推進会議を活かした取組み	② 短期目標は 6 か月間、長期目標は 12 か月間にして達成評価を図る	取組みに差はあるが、意欲的に運営している	・小規模の役割が見えてきた ・事例検討までは難しい	福祉の充実に向け、周辺地域の困り事に協力する
F. 事業所の防災・災害対策	③ マニュアルを見える所に置く。 ④ 3/11 と 9/1 を事業所の防災訓練日にして備える	報告もあり計画実施は確認できる。自治会防災の協力をしている	・状況に応じて避難先を分けて考えてみてはどうか	避難先として第一段階・第二段階の協力先を作る